

AMUSEMENT  
SQUARE  
stage

演劇空間スペースベン

『女114』

文／山田 景子



1  
人は私を虐待母と呼ぶ。  
子供が嫌いな訳じゃない。  
だけど時々憎らしくなる時があるのだ。

2  
子供が産まれない。  
社宅でもどんとん生まれて、居つらくなっている。でも経済的に今は出られない。

3  
「それなりに楽しませよう」  
同じ境遇の友人と旅行に行く前日  
「ゴメン。成功した。」

4  
月引力の関係か。  
私には、訳もわからずそういう衝動にかられる時があるのだ。  
だから私のせいではない。

同じ年の幼稚園の先生は、障害のある子をもつお母さんに、偉そうにこんな事をいう。  
「赤ちゃんは、お母さんを選んで生まれてくるのね。あまり子育てが得意でないお母さんのところには、手のかからない赤ちゃんが、」  
だから責任もって育ててくれそう  
な、がんばりやのあなたには、障害のある赤ちゃんが生まれてきたのだと。  
なら、無性に叩きたくなる私の所にもこの子は選んで生まれてきてるから、いいのですよね、先生。

「気にならないで、顔見せて」

と、キャンセルがはいった。「あなたもがんばって。」と言わないところが彼女と友達でいられた理由だった。

彼の実家にはもうしばらく行って  
いない。  
気を使うのも、遣われるのも疲れるのだ。

つんとしていたかなくて(笑)  
結婚して、子供を産んでしまったら社会からとりのこされるんじゃないかって(笑)  
でも、逆でしたね。  
小児科や幼稚園やお母さん達の集まり、子供がいなければ知らなかつた世界がいっぱいあるんです。

「気にならないで、顔見せて」

そうですね。

世の中も優しく感じます。

子供を持たないと、社会の見方も偏っちゃう。

でも、今まで知らなかった世界が広がって、何より実家に親孝行出来る事がイチバンうれしいです。  
孫を抱いた父の笑顔。  
今でも目に焼き付いています。

4

ろくなのがいなかったのね。  
大したモンぶら下げてねえくせに見栄と体裁ばっか。  
なんであたしの周りってこんななばっかりなんだろ。って  
でも、気づいたの、ある日、ぴんと  
そういうレベルにあたしも居るっ

てこと？  
なら、うんと頑張って、ここから抜け出してやる。って。  
いい男に声かけられる、いい女になつてやるって。  
エステはもちろん。勉強したわよ。思いつき世の中のこととか、通信とかね。やろうと思えばできるのね。で、早く結婚して一見幸せ先取りって見えた子も今じゃばっ  
いちゃんって  
「あたし、間違ってた」  
って、すごいがんばってる。  
新しい女の生き方ってやつ？  
今、すんごい楽しいよ。

(終)

5月のFriday Amusement Negative Shop

■5月4日 (378回)

タイトル未定

安達良春プラスワンシアター

■5月11日 (379回)

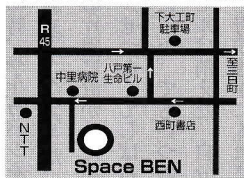
■5月18日 (380回)

■5月25日 (381回)

『THANK you』

作・出演 山田景子 (独り芝居vol.4)

※全て午後7時30分～、料金500円  
チケットはスペースベンにて販売



駐車場はございませんので、車のご来場はご遠慮下さい。  
(近くに西町書店駐車場有り)

☎ スペースベン  
八戸市柏崎1-11-8  
☎FAX 43-9876

FANSでは、脚本を広く募集しています。何か表現したくても踏み出せないあなた、一度「物語」を書いてみませんか？ FANSでは、そんな方の思いを大切に舞台にのせてみたいと思っています。

☎ スペースベンHPアドレス <http://www.hi-net.ne.jp/bunkakk8/SpaceBEN/>  
Eメールアドレス [bunkakk8@hi-net.ne.jp](mailto:bunkakk8@hi-net.ne.jp)